

行事の 聴く お話

防災の日のお話

園で友だちと遊んでいるときに、急に部屋がぐらぐらっと揺れて地震が起きたら…、みんなはどうしますか？

まず、落ちてきそうなもの、倒れそうなものから離れたところで、ダンゴムシのポーズをしたりして頭を守ります。揺れがおさまってから、先生の言うことをよく聞いて、安全なところに避難しましょう。「避難訓練」といって、逃げる練習をしたこと、あるよね？

地震や台風、火事などが本当に起きたときにあわてないよう、準備をしておくことを「防災」といいます。ヘルメットや防災頭巾を用意したり、リュックサックに、懐中電灯や食べ物、水などを詰めておいたりすることも大切ですね。

ずっと昔の九月一日に、「関東大震災」という大きな地震が起こって、建物が壊れたり、火事が起きたり、たくさんの被害が出ました。このことを忘れず、自分の命をしっかり守ろう、と決められたのが、九月一日の「防災の日」なのです。

(おしまい)

● 聴くお話は、耳で聴いただけで、様子を思い浮かべたり、内容を理解したりするお話です。小学生になっても必要とされる、「話を聴いて理解し、考えたり行動したりする力」を育てます。行事の導入や、ちょっとした空き時間にぜひご利用ください。

